

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 2025年4月5日				
事業所名		公表日 2025年4月5日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	1	障害児一人当たりの床面積2.47㎡×10名に 対して126㎡あります。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	7		児童指導員3名以上、児童の人数に応じて 配置しています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		トイレには手すりを配置しています。	利用児童に対応したバリアフリー化を考えて いきたいと思っています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	1	支援前の掃除。子どもが使ったものは 定期的に消毒をしています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9		個別の部屋がない現状です。 必要に応じて事務室を使える工夫を しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9		虐待、拘束、感染症の研修、会議を定期的に行い、共有、改善を行っています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8			保護者様からいただいた意見を参考に 支援に努めています。 ご協力ありがとうございます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		支援会議で意見交換をおこなっています。 支援ノートを使い支援共有を行っています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	1	第三者による外部評価はおこなっていません。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9		ZOOM研修による外部研修などをおこなっています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	1	令和7年3月より公表。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9		定期的なモニタリングをおこなっております。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	1	支援会議の話題に上がった児童に関しての 意見交換、共通理解の上で計画書の 作成をおこなっております。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9		半年に一度のモニタリングに際し、各児童の 発達状況を確認し課題整理をおこない、 計画書の作成に努めています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		vineland- II 適応行動尺度を利用。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9		保護者や関係各所など本人を取り巻く 方々との会議により内容のすり合わせを おこない支援の方向性を決めています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9		職員、指導員同士で話し合いをしながら 立案しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9		職員、指導員同士で話し合いをしながら活動 プログラムをおこなっています。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9		利用される子どもの特性に合わせて支援をしています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9		支援会議で出た話題をノートに残し、情報を共有しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	2	支援後の打ち合わせは難しい為、支援前の会議の際に前日の振り返りを共有をおこなっています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	1	支援ノートを使い共有、支援会議の議題にしています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9		定期的に保護者とモニタリングをおこない、どのような支援が必要か保護者様と相談しながら行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6	1	複数の項目を意識して支援をおこなっています。	複数組み合わせ支援をしていきたいと思います。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9		子どもの自主性を育て自立に向けた支援をおこなっています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9		児童発達支援管理責任者が対応しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	1	保護者、相談支援員、学校への確認を行っています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9		下校時に子どもの様子や予定の確認をおこない、引き継ぎをしています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	1	保護者、相談支援員からの情報を元に対応、共有しています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6		情報共有を希望された場合提供しています。	必要に応じて共有していきます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	2		研修を受ける時間を作っていきたいと思います。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	4		保護者様から要望がありましたら検討していきたいと思います。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	2	地域の児童部会への参加はあります。自立支援協議会の参加はしていません。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8		保護者のお迎えの際その日あった事をお伝えして今後の課題などをお話しています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	2	保護者がお迎えの時や相談したい時にお話を聞いて(個別に) 対策などをお伝えしています。	今後研修会などがあった際は受講を考えたいと思います。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9		契約時やモニタリングの際に説明させて頂いています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9		モニタリング時に確認しています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9		課題と支援内容と項目ごとに説明を行い、同意を得ております。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9		電話での相談やお迎えの際に話を聞いてアドバイスをしています。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	6	3	長期間中にプール見学会などをおこなっています。	今後も交流の場を作っていきたいと思います。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9		苦情窓口を設置しています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9		月に2回、ホームページで掲載しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9		シュレッターで不必要な情報を残さないようにしています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9		お迎えの時に保護者に分かりやすいように説明。子どもには絵カード等を使い意思の疎通に努めています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	3	現在そのような機会は設けておりません。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9		年間予定に基づき実施しています。マニュアル書面にて用意してあります。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9		訓練、研修、児童も含め参加し、実施しています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	1	契約時に確認をしています。職員間で対応の共有をしています。	今後も確認をしていきたいと思います。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8		保護者に確認をし、職員間で共有しています。	今後も確認をしていきたいと思います。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9		総勢児や外出時、職員間で人数確認や声掛けを確認しています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8		学校への送迎時間の確認、連絡等を含め安全確認を実施しています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9		事故、ヒヤリハット報告をして書面化、今後の対策を検討、共有をおこなっています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9		虐待防止委員会を設置し、研修を実施しています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8		子どもや保護者に説明をし、計画書に記載をしております。やむを得ず身体拘束を行った場合報告、記載をしています。	